

# 会 報 <第477号>

次代を築くヒューマン・ネットワーク  
一般社団法人兵庫県建築会



令和7年12月1日

## 目 次

### I 会員寄稿

#### 「2025年は何の年」

岡工務店 代表取締役 岡 澄彦 氏 . . . 2~4頁

### II 会員寄稿

#### 「 音楽を身近に感じて 」

兵庫県住宅供給公社 理事長 西谷 一盛 氏 . . . 5~7頁

III お知らせ 行事予定・編集後記 . . . 8頁

IV 広報コーナー 兵庫県住宅再建共済制度 . . . 9頁



## I 会員寄稿

### 「2025年は何の年」

岡工務店 代表取締役 岡 澄彦 氏

建築会の新春挨拶で、迎えた 2025 年はラジオ放送開始 100 周年の年であると申しました。NHK 放送 100 年であると共に、昭和 100 年。

余談ながら、たこ焼きの始祖には諸説あるようですが、昭和初期ハイカラの代名詞がラジオであったことから「ラヂオ焼き」という名称で売られていた時代もあったそうです。

55 年ぶり開催の大阪万博（執筆中の現在、会期中）の年であり、90 周年を迎えた阪神タイガースのリーグ優勝（9 月現在）と「節目」というには十分すぎるほどの年に思います。

丁度この寄稿が世に出るのが 12 月ですから「2025 年の総括」などと気忙しい時期に入っているのではないかと思います。私が予想する「2025 年を象徴する漢字」は私個人的に「米」だと思いますが、皆様はいかがでしょうか。

55 年ぶりの万博のテーマは 10 月号に会員の方から既出ですので、迎えた終戦 80 年を撮り鉄の目線で綴りたいと思います。

やってきたのは、京都府宇治市。源氏物語ゆかりの地ですが、私の目の高さを京阪電車が通過していきます。枕木に手が届く高さ（絶対に触れてはダメです！）。しかし進入防止柵も何もないで、迫力ありますね。普段こんな位置から通過列車を見ることはないでしょう。正式名称は樋尻橋梁と言います。



(樋尻橋梁)

この低いガードで桁下 1.2m。大阪市淀川区田川にも同じ桁下のガードは存在します。淀川区のそれは北方貨物線（JR 貨物）なので、根気よく待たなければ通過列車の体感ができませんが、京阪宇治線は上り下り合わせて毎時 10

～12 本通過するので、万博の 3D シアターよりも高い臨場感が体験できます。



(樋尻橋梁を通過する京阪宇治線)



以前、会報（第 382 号）で採り上げた甲子園口のマンボウも 1.2m です。腰をかがめて歩行できる低さ。自転車も押してでないと通行は無理です。（4、5 枚目の画像は淀川区・北方貨物線。JR 塙本駅構内扱いのデルタ線だが、これについては別途後述したい。）



(淀川区北方貨物線)



しかし地域住民の方は、露出した枕木の下を生活通路として往来します。まばらですがそれなりに通行量もあります。原付で通る猛者もいます。なぜここまで低くする必要があったのでしょうか。この検証だけだと、撮り鉄で終わってしまうのですが。

この画像は築堤です。築堤が下を走る京阪宇治線を跨いでいたからです。



(築 堤)

この築堤は京阪宇治線と並走する南北の国鉄（現 JR）奈良線の「木幡」駅から枝分かれしたもの（支線の扱い）です。1983 年以降は木幡緑道（遊歩道）として整備されていますが、79 年まで線路跡が残っていました。



(木幡緑道)

つまり、戦時中陸軍の火薬製造所が枝分かれした先にあり、工場との輸送に供する専用線でした。

堅牢な橋台が残っていますが、画像の箇所のみが貨物線の橋桁のあった遺構として撤去されずに残っています。よく見れば補修・塗装の跡がありますので「戦争遺跡」としてこれからも維持していくのでしょうか。橋桁の下を交差する旧の街道は狭い幅員のわりに交通量は多いです。周辺には貨物線が陸軍関係の鉄道であったことを示す境界標があり、「陸軍用地」と刻まれていることから、JR 木幡駅周辺が当時軍事地帯であったことを 80 年経った今も伝えています。「地形は変えられない。変えても土地が覚えている。」プラタモリでの同氏の名言が頭をよぎりました。

貨物線は非電化区間で蒸機の吐き出す黒煙で宇治の空の色を変えていたことでしょう。源氏物語ゆかりの地だけに。ちなみに現在の桃山南団地の位置が火薬製造所跡になります。

場所はかわって、伊丹と宝塚の境になります。JR 福知山線の中山寺駅から分岐する形で陸軍関係の貨物線が敷設されていました。やはり終戦後、道路に転用後は画像のように不自然な道路付けですが軌道の跡でしょう。



(伊丹と宝塚の境)

その先にあるのは天神川を天井川として（紛らわしい）くぐるトンネルが地元ではおなじみの光景であるはずが。



(トンネル)

天神川の決壊をうけてでしょうか、現在では画像のように通行止めにされて改修工事がなされています。



(改修工事)

従前は線路があった頃の面影を残したトンネルでしたが、改修後も石屋川隧道のように鉄路があったことを示す遺構が残っていればと思うのですが。

専用線は野里兵器廠に向かいます。現在は自衛隊関連の施設にかわっています。

上記から分岐した専用線は、（軍用の）蹄鉄の研究施設に向かいます。

天神川をトンネルで交差して随分南下した位置（北野1丁目）に画像のような門柱と説明看板が突如出現します。これが獣医資材支廠長尾（旧長尾村）分廠の遺構で突き当たりに位置します。



(旧陸軍施設の門柱)

皆さんおなじみの場所に戻りましょう。再開発が進む神戸三宮。JR三ノ宮駅の高架橋梁に機銃掃射の穴が開いていることをご存じの方も多いと思います。兵庫県のホームページにも紹介されていますね。東西に並行する連絡通路の金網越しから確認できます。現在、急激に再開発の進む三宮駅周辺ですが、まさか高架橋梁の架け替えまでは発想にないと思います。



(JR 三ノ宮駅高架橋梁の機銃掃射穴)

そうでなくとも、身近に思いをはせることのできる遺跡として、あるいは後世への語りべとして連絡通路と共に残してほしいと切に願います。戦後80年の夏。身近な場所に戦争遺跡は残っていますね。

ラジオ100周年ということで、余談になりますが皆さんは何歳からご自身の部屋にテレビがありましたでしょうか。町の電器屋さんとか喫茶店に相撲や野球の放送を見に行っていたというご回答があるかもしれません。

私の場合、中学入学と共に自分の部屋からテレビが切り離され、応接間に見に行っていました。応接間まで行くとなれば、トイレが離れに置かれるようなもので、心理的に視聴頻度も減るものでした。ただ私のラジカセはテレビのチューナー機能を内蔵した仕様でしたので、音声だけ自室で拾って世の中の動き、学校での話題に取り残されることはありませんでした。

落語の魅力に取りつかれたのもその時期ですが、落語が一人で複数の登場人物を演じるというように、テレビドラマも落語を聞くごとく想像力を働かせながら音声で聴取していました。現代のテロップだらけのyoutubeなど考えられない世界ですね。

そこで出会ったのがラジオという解放区です。当時緩かったテレビの放送コードよりもさらに緩く、発売前の楽曲も1か月前から聴くことができたので重宝しました。今の子だとスマホ依存になるところ、私の場合ラジオの幻想的な万能感に浸って葉書職人として精励していました。

深夜となれば近畿圏外の放送も聞いてベリカード、つまり受信証明書を放送局に請求（趣味で収集）できたのも昭和時代ならではですが、現在ではradikoというアプリでタイムフリー やエリアフリーで時間場所選ばず聞ける時代ですから、隔世の感があります。適度な不便さに夢があった時代かもしれません。

ラジオ放送開始・1925年の最初のスポーツ中継は甲子園球場（夏の高校野球）からでした。その翌年には大阪中之島で野球中継、現在でいうパブリックビューイングが音声と紙芝居という方式で始まっています。冒頭のラヂオ焼きもその時代ですから、当時の先端を行っていたのでしょうか。

## II 会員寄稿

### 「音楽を身近に感じて」

兵庫県住宅供給公社 理事長 西谷 一盛 氏

最近、アナログレコードが人気のようだ。日本の中古レコード盤は状態が良く、日本独自の「帶つき」の珍しさもあって、外国人が多数買っていると聞く。特に、80年代の「シティポップ」の名盤は価格も高騰している。海外で人気がある竹内まりやの「プラスティック・ラブ」シングルレコードは3万円もするらしい。時代が遡ったみたいだ。

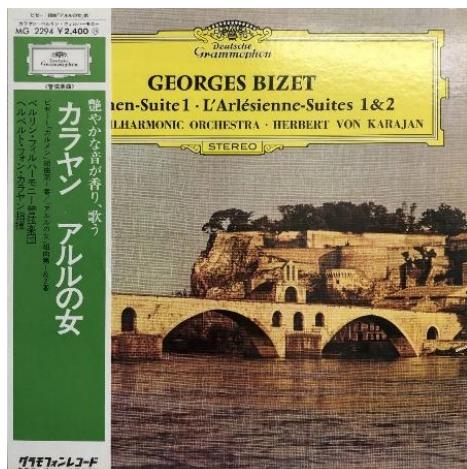
#### I 初めて聞いた音楽

生まれて初めて聞いた音楽は母の子守歌であろう。記憶に残っているのは幼稚園で演じた「桃太郎」のテーマソング。

「桃太郎さん、桃太郎さん、お腰につけた黍団子、一つわたしに下さいな」

小学生になると、日本の童謡や唱歌、外国の民謡などへ幅も広がった。

中学生になると、授業で教わる音楽の中身が充実した。授業は音楽の専用教室で行われ、教室にはステレオレコードプレーヤーがあった。これで人生初めてのクラシック音楽を聞いた。曲はビゼー作曲「アルルの女」。第2組曲のメヌエットはT VのCMでも有名である。ハープの伴奏に乗って、フルートが美しく上向していくメロディがとても気に入り、レコードを買った。



#### II 放送部

高校では放送部に入った。放送部の仕事は、昼休みのBGM放送や連絡事項の校内放送くらいと思っていたが、NHK全国高校コンテストへの出場（アナウンス部門・創作ラジオドラマ部門）やクラス対抗合唱コンクールの会場収録など、文化部らしい活動もあった。部室にはSONY、TEAC、marantz、SANSUI、TRIOのミキサー、オープンリールデッキ、レコードプレーヤー、アンプ、チュナーが並んでいた。



私の仕事は機材担当。具体的には放送時の音響管理、校内イベント等の収録、ラジオドラマの収録・編集など。放課後に部室に行くと、女子が发声練習をしている隣で、男子はラジオドラマの台本づくりや流行音楽の談義など、楽しい時間を過ごした。当時はポール・モーリア・グランド・オーケストラの「恋はみずいろ」やレイモン・ルフェーブル・グランド・オーケストラの「シバの女王」などのイージーリスニング音楽が流行っていた。

### III 合唱団その1

大学では合唱団に入った。団名は「FreieKunst GemischteLiedertafel」(フライ・クンスト ゲミシテリーダーテーフェル)

通称ゲミ。旧制高等学校時代の昭和21年に男声合唱団の「音楽部」が誕生。これが昭和22年に「フライエクンスト：Freie Kunst（自由なる芸術）」の名称になり、さらに翌23年には120名規模の混声合唱団ゲミシテリーダーテーフェル・フェラインを結成。一つの合唱団で、混声、男声、女声のハーモニーを味わうことができた



ほとんどの団員は高校の合唱部出身であり、私のような素人は少数。週4日の練習に加え、練習後は近くの屋台でお酒をごちそうになりながら、先輩に基礎から合唱を教えてもらった。今から40年前の九州でお酒といえば「焼酎」。ビールや酎ハイは飲ませてもらはず、夏でも冬でも「薩摩白波」のお湯割り(焼酎6：湯4)。関西人の私には、とても芋臭く、なかなか馴染めなかつた。

皆さんは合唱のハーモニーがどのように出来ているのか知っていますか。混声は音の高い方からソプラノ(女)、アルト(女)、テナー(男)、ベース(男)の4つのパートに分かれている。メロディーパートは主にソプラノが歌い、外の3声はハーモニーパートを歌うことにより、和音を積み上げ、美しいハーモニーを作っている。

話はそれるが、私たちが学校で習った音階はドレミファソラシドだが、これはイタリア語の読み方。日本式で読むとハニホヘトイロハとなる。

A musical staff with six notes. Below it, two rows of text show the correspondence between Italian solfège and Japanese pitch names. The first row is in Italian (イタリア語) and the second row is in Japanese (日本語).

イタリア語	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド
日本語	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ	ハ

合唱の楽譜はソプラノ、アルト、テナーはト音記号で、ベースはヘ音記号で書かれている。ト音記号はうずまきの中心を通る線上の音符がト音(=ソ)になるので、その名がついている。ちなみに、ヘ音記号は大きい黒丸を通る線上の音符がヘ音(=ファ)である。

#### ■ト音記号 ■ヘ音記号



混声では宗教合唱曲、すなわちミサ曲やレクイエムばかりを歌っていた。3大レクイエムといわれるモーツアルト、フォーレ、ヴェルディもオーケストラの演奏で歌った。歌詞は初めて見るラテン語。発音は「ローマ字読みすればよい」と先輩から教わった。例えば、レクイエムの入祭唱(Introitus)の冒頭「Requiem aeternam dona eis, Domine, et lux perpetua luceat eis. (主よ、永遠の安息を彼らに与え、そして絶えることのない光が彼らを照らしますように)」の発音は「レクイエム エテルナ ドナ エイス ドミネ ····」となる。キリスト教徒ではないが、ミサ曲を歌っていると敬虔な気持ちになり、心を揺さぶられる瞬間が幾度もあった。宗教曲には抵抗感がある人も多いと思うが、名曲といわれるものが多数ある。是非、聴いてほしい。

一方、男声ではドイツロマン派を中心に歌っていた。団には18世紀にドイツで作られた「リーダーシャツ(歌の宝物)」という名前の男声合唱曲集があった。その中から菩提樹、野ばら、ローレライなどが団の愛唱曲になっており、舞台で酔いが回ると歌いだすようなりさまだった。ご

近所の方々にはご迷惑をかけました。

この頃、CDが登場。レコードと違って取扱いが簡単で、ノイズも針飛びもない、画期的なメディアであった。すぐにヤマハのCD-2を購入した。



#### IV 合唱団その2

大学を卒業すると音楽とは疎遠になった。もう一度合唱を始めたのは、子供に手がかかるなくなった40代半ば。地元の男声合唱団に入った。

その団は1998年に結成され、メンバーは「タダタケ」の愛称で呼ばれる多田武彦が作曲した合唱曲が好きな人たち。職業は自営業からサラリーマン、教員、公務員まで多種多様。



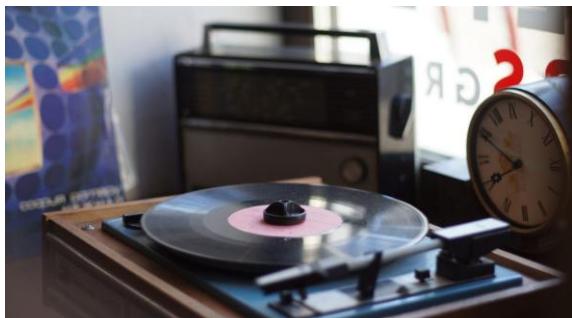
肩書にとらわれず、「楽しく」かつ「厳しく」をモットーに、週末に集まって練習する。北原白秋や中原中也の詩が歌詞になっており、日本語の発声が難しい。毎年、父の日に開催する定期演奏会でその成果を披露している。

また、団のメンバー9名で「デューク・ダックス」というグループも結成している。昭和時代に活躍した「デューク・エイセス」と「ダーク・ダックス」から一文字ずつもらって、彼らのレパートリーである「日本のうた」シリーズやロシア民謡、昭和歌謡などを高齢者施設等で演奏している。

#### V レコードでまちづくり

最近では音楽を通したまちづくりにも携わっている。兵庫県の北部、浜坂にレコード針を製造している「JICO 日本精機宝石工業株式会社」がある。現在では2350種類のレコード針を揃え、世界でもトップクラスの会社だ。その代表の仲川さんや竹村さん（元兵庫県産業労働部長）、大西さん（元神戸松蔭女子大教授）たちと一般社団法人「シン音泉」を立ち上げた。「レコードでいろいろ町づくり」をテーマに、浜坂の伝統産業レコード針で奏でる音楽を使い、交流人口の拡大や観光振興に挑戦している。JR浜坂駅前のまち歩き案内所「松籟庵」に設置したリスニングルームでのイベント「夕暮れレコード時間」や全但バス湯村温泉営業所2階にある「gensen space TOJI」での「週末レコードBAR」などを通して、レコードの魅力を発信している。将来的にはまちなかの空き家をレコードの鑑賞スペース＆保管場所として活用し、例えば「ビートルズ」や「ベートーベン」のようにテーマごとに整備して、好きな音楽の「家」を求めて、ファンがまちを回遊できるようにしたい。

皆さんの家に眠っているレコードがあったら、寄付をお願いします。



高校までは音楽は聴くものだったが、大学からは演奏するものにもなった。歌っていると時々心が震えるほど感動することがある。これからも音楽を身近に感じながら、自分らしく生きてゆきたい。

みなさんも一緒に歌いませんか？

### III お知らせ

#### ◎行事予定

##### 1 観察会

日 時：令和7年12月9日（火）  
14：00～16：00  
場 所：G ライオンアリーナ

##### 2 事業推進委員会

日 時：令和7年12月9日（火）  
17：00～19：00  
場 所：神戸元町「梅の花」  
内 容・講演「工業教育の現状と課題」  
講師 県立尼崎工業高校校長  
上月 通男 氏

##### 3 新春交流会

日 時：令和8年1月8日（木）  
17：00～19：00  
場 所：神戸三宮東急REIホテル

##### 4 月例会

日 時：令和8年2月6日（金）  
12：00～14：00  
場 所：神戸三宮東急REIホテル  
内 容・講演「変わりつつある世界秩序  
と日本の安全保障」  
講師 藤岡金属代表取締役社長  
藤岡 ゆか 氏

#### 5 月例会

日 時：令和8年3月5日（木）  
12：00～14：00  
場 所：神戸三宮東急REIホテル  
内 容・講演「丹波からの魅力発信」  
講師 兵庫県丹波県民局長  
糟谷 浩行 氏

#### ◎ 編集後記

2025年もあと一月となりました。何かと気ぜわしい毎日をお過ごしのことと存じます。事務局を引き続き一ヶ月が経ち、まだまだ行き届かないところばかりですが、ご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

会報の作成を通じまして、建築の奥深さや皆様の情熱を改めまして感じることができました。

来年も、充実した情報をお届けできるように精進してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

事務局：足達和則、石井滝実子  
電 話：078（996）2851  
F A X：078（996）2852  
Email：archit@axel.ocn.ne.jp



安心をカタチに  
**兵庫県住宅再建共済制度**  
**フェニックス共済**



自然災害から守りたい「住まい」と「くらし」



今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

▶ 30年以内の発生確率 最大80%！

▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟！

活断層地震が発生したら

▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら

豪雨による災害が発生したら

自然災害で被災した  
住まいの再建に備えて **兵庫県が実施する共助のしくみ！**

県内に住宅（戸建て・マンションなど）をお持ちの方に

**住宅再建共済**

年額5,000円で

再建、補修時等に

**最大600万円給付！**

※半壊（損害割合 20%）以上



**一部損壊特約**

年額500円で

補修時等に

**25万円給付！**

※損害割合10%以上20%未満

県内の住宅（借家含む）にお住まいの方に

**家財再建共済**

単独加入 年額1,500円で

住宅とセット 加入の場合 年額1,000円で

購入・修復時に 最大**50万円**給付！

※床上浸水・半壊以上

※ 住宅の被害認定（損害割合）は、住宅の所在する市町が発行する「り災証明書」によります。

- 地震・津波・豪雨・台風・地すべり・竜巻など、あらゆる自然災害による被害が対象です。
- 住宅の築年数や規模、構造等と関係なく、定額負担で定額給付です。
- 地震保険や他の共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

**お問い合わせ**

公益財団法人 **兵庫県住宅再建共済基金**

コールセンター **078-362-9400** (平日9:00~17:00)  
FAX: 078-362-4082



E-mail [jutakukyosaikikin@pref.hyogo.lg.jp](mailto:jutakukyosaikikin@pref.hyogo.lg.jp)

フェニックス共済

検索

\*加入申込書はダウンロードできます\*



「加入申込書付きパンフレット」は、県庁・  
県民局・県民センター・市役所・町役場・  
郵便局（簡易郵便局除く）にあります。

クレジットカードでのお支払いの方は、  
インターネットからのご加入が便利です！